

おきむら

興村脳神経外科クリニック通信

（毎月15日発行）
＜第30号＞ H27. 6月

皆様いかがお過ごしですか？

興村脳神経外科クリニック通信第30号をお届けします。

バックナンバーは当院のホームページからも閲覧できますのでご利用ください。 <http://www.okimura-nouge.com/>

日頃、妻や娘達がささいな事で口論になることがあります。私は家庭内でたった一人の男の「立場」で多くは仲裁役となっています。もめ事の当事者になってしまうと「相手」の「立場」で考える事ができなくなってしまいますが、第三者は冷静に両方の「立場」を考えることができます。ところが医療の場においては患者さんの関係者と医療従事者がいるだけで第三者が存在することは少ないと思います。ですから医療従事者にとって患者さんの「立場」を想像できる感性は大切です。私が年に1回の人間ドックを、身分を伏せて受けているのは、できる限り患者さんの「立場」を感じたいからです。それに加え、時々、何らかの事情で傷を負ってくる（第8、28号参照）のも、同じ理由からです、と言っても信じてはもらえませんよね。

さて今月の話題は『相手』の『立場』です。

人と人との会話や交流は多くの素敵な成果を生み出すことは間違いありません。その一方で人が集まればそこに必ず行き違いも発生するのは歴史を振り返っても明らかです。それを最小限に食い止めるのはできる限り『相手』の『立場』を尊重することです。それは家庭内、職場、我々のような医療機関など、どんな社会でも同様ではないでしょうか。少しの気遣いにより『相手』の『立場』に立った発言ができるコミュニケーション能力があるかどうかで大きく状況が変わるような気がします。私が日頃心がけているのは、今自分が患者さんの席に座っていたら何を言われたいのか、何をされたいのかを想像することです。例えば専門領域以外の診療をお願いされた時、その症状を持つ患者興村は果たして医師興村に治療を求めるかどうか、検査の結果説明する時、患者興村は医師興村にどのように話をしてほしいのかなどを考えるよう努力しています。まだまだ未熟ではありますが、患者さんの『立場』を想像しながら、自らやスタッフのコミュニケーション能力にも注意が払える、そんなクリニックをスタッフとともに目指していきたいと思っています。

今後とも、クリニックならびにクリニック通信にご指導いただければ幸いです。

暑い日が増えてきました
水分補給をしっかりとって
熱中症に注意しましょう！

◇健康診断のお知らせ◇

健康診断を実施しております。
予約制となりますので、
ご希望の方は受付へお申込みください。

検査項目等詳細は、別紙
“健康診断のご案内”を
ご覧ください。

◇当院からのお願い◇

◆月初めには、保険証の提示をお願いいたします。
70歳以上の高齢受給者証をお持ちの方は、保険証と一緒にご提示ください。

◆お電話にてご予約される際は、
まず診察券番号とお名前をお伝えくださいますようお願いいたします。

◆お引越し等で住所・電話番号が
変更になった際は、お知らせください。

興村脳神経外科クリニック